

松伯美術館コレクション

上村松園 素描、下絵と本画

川村記念美術館(運営: DIC 株式会社)は、財団法人 松伯美術館(奈良市)の協力により、近代日本画を代表する画家上村松園の展覧会を開催します。女性としての強い意志と品格を備えた美人画で知られる松園の作品は、2010年に東京と京都の国立近代美術館で開催された回顧展で多くのファンを魅了しました。本展では、色鮮やかな本画とともに素描と下絵を展示するほか、女性として初めて受章した文化勲章や愛用の筆など、松園ゆかりの品々をも紹介することで、制作の秘密や線描のすばらしさ、さらにはその人物像に迫ります。

- 会 期 2011年2月15日(火) - 3月27日(日)
- 開館時間 午前9時30分 - 午後5時(入館は4時30分まで)
- 休 館 日 月曜日[3/21は開館]、3/22(火)
- 入 館 料 一般1,200円 / 学生・65歳以上1,000円 / 小中学生・高校生500円
- 会 場 川村記念美術館(千葉県佐倉市坂戸631番地)
- 電 話 0120-498-130(代)
- U R L <http://kawamura-museum.dic.co.jp>
- 交 通 ◎東関東自動車道「佐倉IC」から約10分、無料駐車場300台
◎高速バス(1日1往復のみ運行)
[往路]10:55 東京駅(八重洲中央口、京成バス3番のりば) → 11:57 川村記念美術館
[復路]15:29 川村記念美術館 → 16:26 東京駅
◎JR総武本線「佐倉駅」南口から無料送迎バス約20分
◎京成本線「京成佐倉駅」南口のシロタカメラ前から無料送迎バス約30分
- 主 催 川村記念美術館(DIC 株式会社)
- 後援(予定) 千葉県、千葉県教育委員会、佐倉市、佐倉市教育委員会
- 協 力 財団法人松伯美術館

..... <取材および追加資料請求はこちらまで>

川村記念美術館 tel. 043-498-2672 / fax 043-498-2139

広報担当 海谷紀衣 norie-kaiya@ma.dic.co.jp

林里絵子 rieko-hayashi@ma.dic.co.jp

担当学芸員 赤松祐樹 yuuki-akamatsu@ma.dic.co.jp

概要

近代日本画を代表する画家上村松園(1875-1949年)は、女性としての強い意志と品格を備えた美人画で広く知られていますが、多くの素描も残しています。本展は、上村家三代のコレクションで知られる財団法人 松伯美術館(奈良市)の協力により、同館所蔵の色鮮やかな本画7点、下絵・素描約80点に加え、愛用の筆や文化勲章などゆかりの品々を展覧し、制作の秘密や線描のすばらしさ、さらにはその人物像に迫るものです。

松園の素描は、櫛やかんざし、能面などを見つめる画家の鋭いまなざしや、人物を写す際の生き生きとした筆致など、本画とは異なる魅力にあふれています。また、自ら薄紙をこよりで綴じて持ち歩き、あらゆる場所に赴いて古画等の模写を行っていますが、さまざまな情報が詰まったこれら縮図帖(スケッチブック)は、画家にとってかけがえのないものでした。

恋の情念や狂気を描き出した《花がたみ》から、静かな外観の中に深い精神性をたたえた《鼓の音》に至るまで、松園の表現は制作年代によって変化しますが、古きよき京都の風情や江戸期の情緒、人間の想いを格調高く昇華するための能のテーマなど、作品に込められた多くの要素は見る者を魅了します。

表面的な女性美のみならず内面や精神の美しさを捉えようとした松園の作品が、なぜ決して通俗的にならず常に品格を保っているのか、画家の意図が直接あらわれた素描や下絵を見ることで、その秘密に直に触れることができるのではないのでしょうか。特に、代表作のひとつである《花がたみ》には関連する素描が多数残されており、本展ではこれらを下絵、本画とともにご紹介します。



縮図帖を見る松園、昭和16年

貸し出し用図版

※掲載していただける場合は文字載せや切り抜きなどの加工をせず、キャプションを併記してください。



1



2



3



4

-
- | | | |
|-------------------------|-------------|---------|
| 1. 《花がたみ》 | 1915(大正4)年 | 松伯美術館所蔵 |
| 2. 《花がたみ》下絵 | 1915(大正4)年 | 松伯美術館所蔵 |
| 3. 《富勇1》 | 年代不詳 | 松伯美術館所蔵 |
| ※富勇は《花がたみ》のモデルを務めた祇園の芸妓 | | |
| 4. 《花がたみ》素描 | 1915(大正4)年頃 | 松伯美術館所蔵 |



5



6



7



8



9

-
- | | | |
|------------------------|-------------|---------|
| 5. 扇をスケッチする松園(木村伊兵衛撮影) | 年代不詳 | 松伯美術館所蔵 |
| 6. 《牡丹》 | 年代不詳 | 松伯美術館所蔵 |
| 7. 《草子洗小町》下絵 | 1937(昭和12)年 | 松伯美術館所蔵 |
| 8. 《鼓の音》下絵 | 1940(昭和15)年 | 松伯美術館所蔵 |
| 9. 《鼓の音》 | 1940(昭和15)年 | 松伯美術館所蔵 |

関連プログラム

講演会「松園芸術の原点」

鬼頭美奈子[松伯美術館学芸員]

3/19(土) 14:00-16:00

松園の生涯および作品の魅力についてお話しいたします。

聴講費＝入館料のみ | 先着 60 名 | 当日 12:00 より美術館受付で希望者に整理券配布

学芸員によるギャラリートーク

赤松祐樹[川村記念美術館学芸員]

2/15(火)、2/26(土)、3/12(土)、3/26(土) 14:00-15:00

展覧会の担当学芸員が展覧会の解説を行います。

聴講費＝入館料のみ | 先着 40 名 | 14:00 エントランスホール集合

ガイドスタッフによる全館ガイドツアー

講演会と学芸員のギャラリートーク開催日を除く毎日 14:00-15:00

会場混雑時にはコレクションのみのガイドとなる場合があります。

参加費＝入館料のみ | 先着 40 名 | 14:00 エントランスホール集合

カタログ

出品作品すべてのカラー図版に加え、関連図版も多数掲載。松伯美術館学芸員の鬼頭美奈子氏による論考「松園芸術の原点」掲載。当館ミュージアムショップにて販売します。

発行＝川村記念美術館 | デザイン＝森大志郎 | 価格未定

お茶席

会期中、館内のお茶席で当館所蔵の松園作品《桜可里》をイメージした和菓子と抹茶のセットを販売します。(税込 700 円)

